

青少年

令和8年2月1日

塩尻市教育委員会
交流文化部
社会教育スポーツ課 社会教育係

〔発行〕 塩尻市青少年育成センター（塩尻総合文化センター内） 電話 0263-52-0894 FAX.0263-53-7604

時代の流れとともに変わりゆく 青少年育成活動

昭和50年に青少年の健全な育成と、非行防止活動の拠点として塩尻市青少年補導センターが設置されました。青少年の健やかな成長を願い、地域における青少年の非行・犯罪防止及び事故防止のための見守り活動、並びに地域の諸団体と連携した育成活動及び青少年が安全で安心して暮らすことのできる環境整備活動等を総合的に推進していくことを目的に活動を行ってきました。地区からの推薦により選ばれた青少年補導委員は65名、その他に関係団体からの推薦による委員も併せて約100名の委員で構成されていました。その後、青少年を取り巻く環境が大きく変化していることに伴い、名称及び活動内容等を時代や実態に即したものと見直しを行い、令和2年から青少年育成センターと名称を変えて地区推薦のみの65名の育成委員で新たなスタートを切りました。

しかし、時代とともに環境が変化したのは地域も同じで、育成委員のなり手不足と、それに関わる区長の負担増が課題として挙げられていました。この課題を解消するため、令和7年度の委員の選出は推薦する、またはしない、のいずれかを

各区で選んでもらう選択制を新たに導入しました。それとともに、以前は委員の中から選出していた会長を事務局で担い、理事などの役員を選出しないことで、委員の負担軽減を図りました。

この見直しにより、委員数は25名と大幅に減少しましたが、地区の実情に合った活動を行っています。

しかし、来年度以降は更に委員数が減少することが予想されるため、地区推薦は廃止し、個人的にこの活動に賛同をしていただける方を募る「公募」という形でこの活動を継続できればと考えています。

子どもたちの生活や、それらを取り巻く環境が目まぐるしく変化してゆく中で、保護者や学校だけでなく、「地域の目」の重要さを私たちの共通目的として、より多くの方々に活動への御理解と御協力を引き続きお願い申し上げます。

未来ある子どもたちのため 地域の未来のために

近年、少子高齢化や働き方の多様化、地域コミュニティの希薄化などにより、地域の役員のなり手不足が顕著になっており、青少年育成委員も例外ではありません。地域の役員は、昭和の時代から引き継がれてきたものや、1年で交代するものが

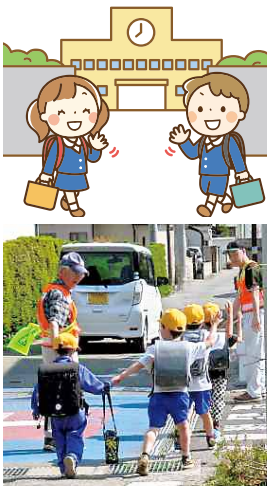
多く、その目的が形骸化することもあります。目的を理解しないまま、「頼まれたから」という理由で役を務めることになった場合、どうしてもやらされ感が強くなりがちです。

青少年育成委員は、改めて目的の趣旨に立ち返り、「できる人ができることをやる」という精神で、子どもたちの見守りなどを主体的に行っていただけの人材を募集し、再スタートを切ります。地域の子どもたちがこの活動を通じて地域に愛着を持ち、将来、この地に住むきっかけの一つになることが、委員にとって何よりの喜びです。また、この活動を通じて子どもたちとあいさつを交わし、笑顔を見られるという直接的な喜びも感じることが出来ます。

未来ある子どもたちのため、地域の未来のために、同じ思いを持つ方々と共に活動できることを願っています。

塩尻市青少年育成委員協議会会長
塩尻市役所 社会教育スポーツ課

上村 英文



今年度の活動をふりかえって

委員選出の選挙制を取り入れた今年度は、25名の青少年育成委員のみなさんと、各地域に分かれて活動を行いました。

あいさつ運動

長野県では、お互いあいさつをすることでみんながつながり、地域ぐるみで子どもたちの育ちを応援する「信州あいさつ運動」を進めています。塩尻市でも、市内の小中学校に赴き、下校する子どもたちにあいさつを呼びかけながら、交通ルールを守って安全に下校できるよう見送っています。

通学路の見守り・地域の巡回

各学校周辺の交差点に立ち、横断の補助を行いました。学校周辺でも交通量の多い危険な交差点があり、子どもたちが自ら「止まって、よく見て、渡る」を実践できるようにサポートしています。

横断後、止まってくれた車に「ありがとう」を言いました。とお辞儀をする子どもたちの姿は、日頃からの習慣が身についているものと感心させられます。また、車での地域内の巡回や、商業施設、ゲームセンターの巡回を行い、万引きの抑止や従業員の方へ見守りの協力をお願いしています。



駅前啓発活動

7月の「青少年の被害、非行防止全国強調月間」、「社会を明るくする運動」に伴う街頭啓発活動を行いました。関係団体とともに、朝の通勤時間帯の駅の利用者へ啓発リーフレットの配布を行い、月間の周知と協力を呼びかけました。

警察ボランティア協会との合同巡回

毎月市内の商業施設や駅、公園などを巡回している塩尻市少年警察ボランティア協会のみなさんと合同で巡回を行いました。駅前などにある駐輪場を回り、無施錠自転車車のチェックと、駐輪場の利用者に施錠を呼びかけました。防犯カメラの設置により、自転車の盗難は減少しているものの、いまだに無施錠や長期間の放置自転車が見られました。



青少年健全育成講座の開催

塩尻市青少年育成センターでは、見守りや啓発活動のほかに、子どもたちの安全安心な生活と、健やかな育ちを応援するために各種講座を開催しました。11月には、「子ども・若者育成支援強調月間」に合わせて「松本山雅わくわくスポーツ広場」を開催予定でしたが、インフルエンザの感染拡大により、今年度は中止とさせていただきます。

夏休みネット安全教室

夏休み子ども応援企画の一環として、小学生を対象としたネット安全教室を洗馬公民館で行いました。増加する子どもたちのインターネット利用によるトラブルを未然に防ぐために、NTT東日本の方を講師に迎え、インターネットを使用する上での注意点や、SNSを使用する際のコミュニケーションマナーなどを学びました。



公衆電話の使い方講座

夏休み中に行われたサマースクール公民館において、「使ってみよう 作ってみよう 公衆電話」と題して、公衆電話の使い方講座を開催しました。

スマートフォンの普及に伴い、年々台数が減り、使うことが少なくなった公衆電話ですが、事件や事故、災害が発生した際には重要な連絡手段になります。今回は、市内の小学生と保護者の方に参加を募り、公衆電話のかけ方を学んだ後、工作キットを使い本物そっくりの公衆電話を作りました。



各種会議と研修

第50回 長野県青少年補導活動推進大会

この大会は、県下の青少年補導員が一堂に会し、日頃のボランティア活動における諸問題や成果を持ち寄り、青少年補導活動の一層の発展に資することを目的としています。この中で行われた、補導活動事例発表では、佐久市と塩尻市が日頃の活動の様子や課題について発表を行いました。塩尻市は、組織の充足から活動の内容、時代に沿った組織の見直しと、委員選出に係わる課題について報告しました。来年度は、塩尻市が長野県青少年補導センター連絡協議会の会長市となるため、本大会も塩尻市で開催予定です。



青少年健全育成3団体合同研修会

この会議は、塩尻市少年警察ボランティア協会、子ども会育成連絡協議会、青少年育成委員協議会が、青少年を取り巻く現状について理解を深め、それぞれが共通認識をもって、相互の連携を図ることを目的として毎年開催しています。今年度は、吉田地区で「お気楽カフェ」を主催されている、熊澤千奈美さんを講師に迎え「地域の子どもたちへ」私ができる働きかけ」と題して講演会を行いました。お気楽

カフェは、熊澤さんの子どもから大人まで誰もが気軽に立ち寄れる身近な居場所を作りたい、との思いから始まりました。これからも地域の人たちの力を借りながら、様々な世代の人たちが、心地よくつながれる身近な居場所でありたい、また地域にこういった場所が今後増えてほしいと話しておられました。



中信4市青少年補導センター連絡会議

今年度は、安曇野市を会場に、青少年の非行防止及び健全育成のため、情報交換を通じて相互の親睦を図ることを目的に開催されました。事前に各市から提案された議題に対し、回答と質疑応答が行われましたが、どの自治体も委員の選出方法や活動の見直し等を検討しているとのことでした。実際に公募制を取り入れている松本市からは、市の施設に置かれている公募チラシを見て応募してきた方が多かったとの意見があり、今後の募集について参考にしていきたいと思います。



長野県青少年健全育成県民大会 「こどもまんなかアクション」 リレーシンポジウム in 信州

この会議は、次代を担う青少年が心身ともに健やかに、たくましく育つことを願い、よりよい社会環境づくりを県民総参加で進めるとともに、子育て世代にやさしい社会づくりを推進する取り組みを県下全域に広げるために開催されています。

今年度は、岡谷市カノラホールを会場に、県内各地域から、日頃青少年健全育成に携わる関係者が一堂に会し、「こどもまんなかアクション」リレーシンポジウムとして行われました。

最初に各種表彰が行われた後、岡谷東高校書道部のみなさんによる書道パフォーマンス、少年の主張長野県大会の受賞作品発表、岡谷市リーダーズ倶楽部から現状報告がありました。その後、「こども基本法と子どもの権利」と題してこども家庭庁の方からの講演と質疑応答があり、最後に大会宣言が朗読されました。「こどもや若者を取り巻く様々な状況の変化に対応した柔軟な取り組みの推進を、県民一人ひとりが主体的に関わり、全力で取り組んでいくこと」が宣言されました。





子どもの安全見守り隊 隊 員 募 集

地域における青少年の交通事故や犯罪を防止するための見守りを行ってきた青少年育成委員に、より身近で親しみやすい名称をつけて、令和8年度から新たなスタートをきります。

応募資格	年齢、性別は問いません
任 期	1年（更新可）
活動回数	年4回～5回（地区の実情に応じて）
活動内容	通学路の見守り、啓発、巡回、環境美化等
活動時間	下校時間帯の1時間から1時間半
活動報酬	1回の活動につき2,200円
保険加入	ボランティア活動保険に加入します



【お問い合わせ・お申込み】

塩尻市役所 社会教育スポーツ課 社会教育係
塩尻市青少年育成センター事務局

〒399-0738 塩尻市大門七番町4番3号
塩尻総合文化センター内

電 話：0263-52-0894

F A X：0263-53-7604

メール：shakai@city.shiojiri.lg.jp

QRコードからもお申込みいただけます

